

2022（令和）4年 10月4日
ESRI政策フォーラム シリーズ：「静かなる有事」少子化と男女共同参画

【第1回】人生100年時代の若者の恋と結婚

恋愛結婚の衰退

— バーチャル恋愛の出現 —

山田昌弘 Masahiro Yamada

中央大学 文学部 教授 社会学専攻
内閣府人生100年時代の結婚・家族研究会座長
内閣府男女共同参画会議・民間議員

0. はじめに

「もはや昭和ではない」 『令和四年版・男女共同参画白書』

戦後－昭和の社会

「誰でも望めば、30歳くらいまでに、自然に結婚相手に出会えるか見合いで結婚し、夫は主に仕事、妻は主に家事で、離婚しないで高齢を迎えることが出来る」と思えた。

令和の社会

若者の約25%が未婚、結婚した3組に一組が離婚。自然に出会う機会はどんどん減り、恋愛への関心も低下している。

1. 日本の未婚化の実態

日本の結婚、恋愛の現在

①結婚している人の減少

未婚者率	2020年				1970年			
20代後半	男性	76.4%	女性	65.8%	男性	46.5%	女性	18.1%
30代前半	男性	51.8%	女性	38.5%	男性	11.1%	女性	7.2%

②独身者で交際している人がいる人の減少

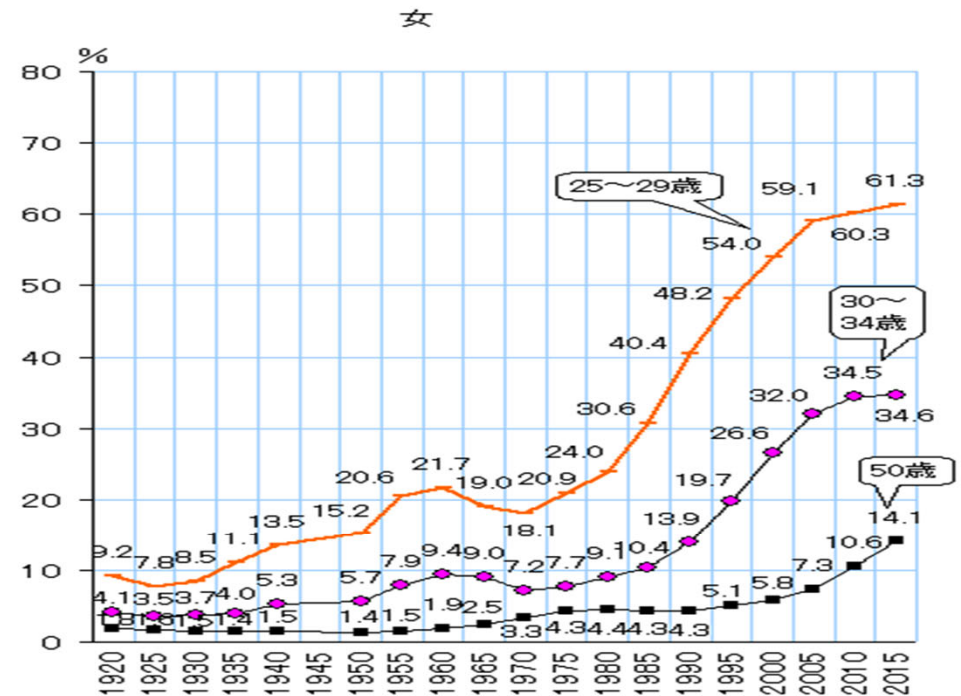
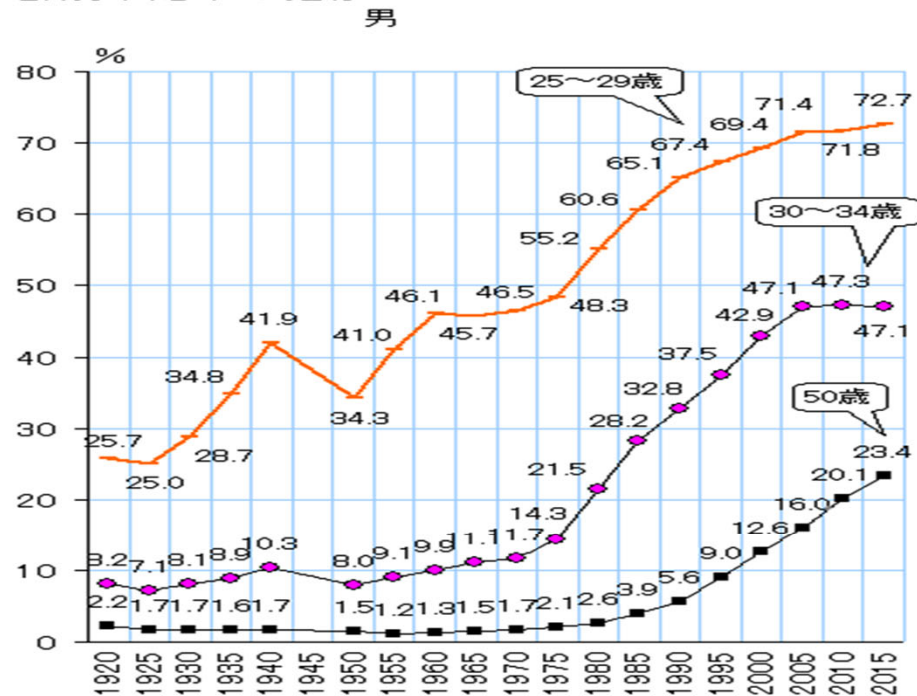
恋人あり（婚約者含む）率	2021年				2005年			
18-34歳	男性	21.1%	女性	27.8%	男性	27.2%	女性	36.7%

*** パートナー（配偶者、恋人）がいる人 激減**

図. 未婚率の上昇

*2020年 30-34歳未婚率 男性 51.8%、女性 38.5%
 50歳時点未婚率 男性 28.3%、女性 17.9% (案分処理後単純比較不可)

年齢別未婚率の推移



(注) 配偶関係未詳を除く人口に占める構成比。50歳時の未婚率は「生涯未婚率」と呼ばれる(45~49歳と50~54歳未婚率の平均値)。

(資料) 国勢調査 (2005年以前「日本の長期統計系列」掲載)

表、男女交際の不活発化

- 表 独身者で交際相手をもつ率の変化 18歳-35歳
- (国立社会保障・人口問題研究所 出生動向基本調査より 数字%)

	1992	1997	2002	2005	2010	2015	2021
男性							
• 恋人あり (含む婚約者)	26.3	26.2	25.1	27.2	24.6	21.3	21.1
• 交際中異性の友人有り	19.2	15.3	11.3	14.0	9.4	5.9	
女性							
• 恋人あり (含む婚約者)	35.5	35.4	37.0	36.7	34.0	30.2	27.8
• 交際中の異性の友人有り	19.5	15.9	12.4	12.9	11.9	7.7	

恋愛の衰退 2 性体験がある学生の減少

(2005以降 減少傾向)

性体験がある学生 (高校生、大学生の割合) (%)

	1987	1993	1999	2005	2011	2017
Male						
高校生	11.5	14.4	26.5	26.6	14.6	13.6
大学生	46.5	57.3	62.5	63.0	53.7	47.0
Female						
高校生	8.7	15.7	23.7	30.3	22.5	19.3
大学生	26.1	43.4	50.5	62.2	46.0	36.7

- 日本性教育協会編(『若者の性白書 第8回青少年の性行動全国調査報告』)

1. 日本の未婚化の実態

- * 日本と欧米の結婚減少の違い
- ヨーロッパ・アメリカの結婚の減少
ライフスタイル革命（1960年代）
結婚せずに性関係を楽しむ（同性も含む）
同棲や婚外子の増大　－カップル形成力は強い
- 日本の結婚減少
伝統的家族（昭和の家族）へのこだわりが未だ強い
同棲率約3%（2021年）　婚外子率約2%（21年）
（中国、韓国など東アジアも低い）

2. 日本の未婚化の背景

* 結婚の二つの側面

- ①好きな人と一緒になる（恋愛感情の結果）
- ②生活を一緒に営む（経済生活）

* ニュー・エコノミー（男性収入の不安定化）

若年者に伝統的な結婚（昭和の性別役割分業家族）で豊かな生活を送ることが難しくなる状況に

- ①と②が矛盾する事態

2. 日本の未婚化の背景

日本と欧米諸国の違い

- 欧米 愛情（「親密性」「恋愛感情」）を最優先
男女とも経済的に親から自立
女性も男性と同様の条件で働くことができる
様々なライフスタイル（同棲など）を試すこと可能

- * 日本（東アジア） 経済を最優先
結婚は経済的に安定する手段（女性にとって）
結婚した後に経済的に中流生活が維持できなければ、
結婚しない、つきあわない
親元で独身が原則ーパラサイトシングル（親同居未婚）。

2. 日本の未婚化の背景 日本社会

「恋愛感情」よりも「**経済的生活**」を優先して結婚相手を探す

恋愛感情（親密欲求、ロマンティック感情、性欲）は、**別の所**で満たす。

中国、台湾や韓国は、日本以上に経済重視
→ 日本 以上の少子化が進行中

2. 日本の未婚化の背景

- 結婚の経済的帰結

- * 結婚は、生活状況を変えるイベント

- ①今の生活（独身）よりも、よい生活をしたい

- 生活レベルが落ちる結婚はしたくない

- ②自分以上の環境で、子どもを育てたい

- 子どもにつらい思いをさせたくない

- * 経済的に生活レベルが落ちるのであれば、結婚しない方がまし

3. 恋愛衰退の理由

恋愛衰退の理由1 プッシュ要因（恋愛から遠ざける要因）

1-1. 結婚生活のハードルが上がり、結婚相手の選別が進んだこと

女性 恋愛相手と結婚するから、相手に経済力を求める

収入の低い男性とは付き合わない → 婚活

収入の不安定な男性 選ばれないと諦める

• 結婚に至らない相手と恋愛関係を楽しむのは、

時間の無駄（女性） お金の無駄（男性）

* 近年男性も経済力を女性に求め始めている

(2021年出生動向基本調査)

男だけでなく女も収入が不安定な者 ますます不利に

3. 恋愛衰退の理由

(報告割愛)

恋愛衰退の理由1 プッシュ要因 (恋愛から遠ざける要因)

1-2. 恋愛、性に対するあこがれの低下

* 恋愛しても楽しくない

- 1) 恋愛結婚をした親が楽しそうに見えない
恋愛ドラマにあこがれたのは30年前の話
- 2) 友達のやっかみ SNSの普及
恋人がいることを隠そうとする
友達に自慢できない - リア充だと揶揄される
- 3) 振られるリスク、別れるリスクへの恐れ
気まずさ、世間体、友人を失いたくない

3. 恋愛衰退の理由

(報告割愛)

恋愛衰退の理由1 プッシュ要因 (恋愛から遠ざける要因)

1-3 性関係に対するリスク情報が過多

- 日本の性教育、報道 妊娠、性病、ストーカーなど
性や恋愛に関する恐怖心が刷り込まれる

- 日本人 リスクを避ける傾向

安全な相手でないと、交際を始めない

日本 - 偶然の出会いでの結婚 少ない

ナンパは不良のすることという意識

3. 恋愛衰退の理由

恋愛衰退の理由2 プル要因（恋愛の代替要因）

2-1. 恋愛以外に楽しいことがある

1) 友人の方が楽しい、気楽

（異性の友人をもつ学生の割合変わらない）

• 2) プチ満足（安いモノで満足できる）

プチ消費 – ブログやラインで賞賛される

* 3) おひとりさま消費

一人で楽しむツールが揃っている

3. 恋愛衰退の理由

恋愛衰退の理由2 プル要因 (恋愛の代替要因)

2-2. 恋愛の代替関係 分散投資

- * 親密性 同居の親、友達、ペット、スナックのママ、
 キャバクラ・メイドカフェ・クラブのキャスト、ホステス
 レンタル彼氏、レンタルおっさん
- * ロマンティック感情 (押し活)
 アイドル、スター、スポーツ選手、アニメのキャラクター
 水商売、性風俗産業のホステス、キャスト
- * 性満足
 ポルノ、エロゲー、セフレ、性風俗産業

4. 恋愛・結婚衰退の帰結

- 恋愛衰退の帰結

「婚活（誤解された）」と「バーチャル恋愛（家族）」

結婚は経済的なもの 恋愛感情なくてもよい
恋愛感情は、バーチャルで十分

- * 既婚者にも及ぶ

日本、夫婦で出かける割合低い、

セックスレス率58.5%（2021年出生動向基本調査）

（既婚男性 キャバクラ、風俗

妻と一緒により楽しい

既婚女性 実家の母親、ママ友、推し活

夫と一緒により楽しい

5. 日本でのバーチャル文化の発達バーチャル家族

➤自分が大切な存在であること、自分が
必要な存在であることを実感したい



現実の世界（夫婦、恋人、仕事）では、
実感できない人（独身者等）が増大する



➤バーチャルな世界で実現しようとする。

5. 日本でのバーチャル文化の発達
家族的サービスを提供する産業の発達

(ここから報告割愛)

親密であることを実感できる恋人や妻のよう
なサービスを購入する

キャバクラ メイドカフェ、JK産業、性風俗産業

萌えを提供

感情的に好きと思える対象

おっかけ、お気に入り（ジャニーズからキャバクラキャスト）、アニメのキャラクター（腐女子）

5. 日本でのバーチャル文化の発達
家族的サービスを提供する産業の発達

ペット産業

自分が必要とされる感覚を供給

ペットを幸せにすることに全力を注ぐ人、夫より
ペットが大切

オタク的趣味

ヴァーチャルな世界の中で「できる自分」を体験
アニメ、コミック、ゲーム、パチンコ、コスプレ

3. 日本でのバーチャル文化の発達

- 表 内閣府2010年調査実施 バーチャル関係を持つ人の割合

20-39歳 ネットモニター10000サンプル

A メディアの中のキャラクターや登場人物に恋をすることはありますか？

	既婚	独身恋人有	独身恋人経験有	独身恋人経験
無				
男性	5.3	7.5	8.0	14.6
女性	13.5	18.0	18.1	30.2

B 身近にいないタレントやアイドルに恋をすることはありますか？

男性	7.3	9.7	10.3	11.3
女性	15.6	18.3	20.2	25.3

5. 日本でのバーチャル文化の発達

表 明治安田生命生活福祉研究所2017年実施「男女交際・結婚に関する意識調査」
ネットモニター（18-34歳 表示は30代前半のみ、サンプル10304）

次のような関係を恋愛対象にしていますか

- A ペット
B アイドルやタレント、スポーツ選手など
C アニメ、ゲーム等のキャラクターなど
D キャバクラ・メイドカフェ・ホストクラブなど
E 性的サービス産業

人)		A	B	C	D	E	(1つ以上つけた)
30代前半	未婚男性	3.3	12.5	13.8	9.8	13.7	(30.8)
	既婚男性	4.1	11.8	5.8	13.1	14.6	(28.4)
	未婚女性	7.2	16.1	12.0	0.8	0.8	(27.1)
	既婚女性	2.2	13.9	7.4	1.4	1.1	(19.9)

5. 日本でのバーチャル文化の発達 ここまで割愛

▶バーチャル関係調査（2019年1月、首都圏20-39歳 山田科研費）
（よくある、どちらかといえばある、の合算 %）

	男性		女性	
1. ペットの親密な関係を抱く	48.0		50.7	
2. キャバクラやメイドカフェに行く	10.1		2.3	
3. アイドルやスターに恋愛感情	14.3		18.0	
4. アニメのキャラクターに恋愛感情	12.2		11.6	
5. 性的サービス業に通う	16.3		1.4	
6. ポルノをみる	83.0		14.3	

6. まとめ

恋愛結婚の衰退 「若者の余裕のなさ」 = 将来の結婚生活不安

* エピソード

「就活で忙しくて彼女と別れた」

「母親に奨学金を借りている人とはつきあってはいけないと言われた」
(約4割の大学生が平均200万円以上の借金を背負って卒業)

* 時間的・心理的余裕のなさ

正規雇用の若者 長時間労働でつきあっている時間がない

* 経済的余裕のなさ

非正規雇用の若者 男女とも結婚相手として選ばれにくくなっている

6. まとめ

「幸せに衰退する日本」

= 全員がリアルの中で希望（結婚して恋人ができる）がもてるわけではない社会

* バーチャル文化は、救いか？

* 欧米のような多様化を起こし、少子化を食い止めるためには、

「男女共同参画」が不可欠

男女とも経済的に自立でき、お互いの経済力に関係なく恋愛し、恋愛・結婚相手を気楽に選べる社会に

ご清聴ありがとうございました



山田昌弘

日本の少子化対策は
なぜ失敗したのか？
結婚・出産が回避される本当の原因



光文社新書

「もっと早く、
せめて団塊ジュニアが結婚、
出産期に入るまでに
手が打たれていれば……」

- 欧米の慣習や価値意識をモデルの前提としてしまった
- 日本の若者の本音に目を向けず、切実な現実をスルーした
- お金がかかることには動きが鈍く、触れたがらない政府